

令和5年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例報告書

佐世保市立早岐中学校

所在地 〒859-3203 長崎県佐世保市陣の内町 100 番地

校長 近藤 隆生

生徒数 640名

学級数 22学級

教育目標「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」

校訓「友愛・創造・健康」



1 はじめに

本校の教育目標は「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」である。自分を育んでくれている地域や自然、人々を愛し、そして自分が愛されていることを感じる事が、これからの未来を担う生徒たちの大きな糧となることと考える。



今年度は全校生徒640名、通常学級18学級、特別支援学級4学級でスタートした。また、令和3年度より通級指導教室（ゆたか教室）が本校に開設され、本校の生徒や近隣中学校の生徒が通級した。

生徒たちは純朴で活動的で、毎年体育大会や文化発表会などの学校行事で、大きなエネルギーと集団の団結力を発揮している。今年度5月から新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、これまで制限されていた学校行事もコロナ禍前の形で実施することができた。たくさんの保護者や来賓、地域の方々を招いての開催に、生徒たちは、「当たり前のありがたさ」を実感しながら、感謝の気持ちをもって取り組む姿が見られた。



今年度も運動系部活動が県大会や九州大会、全国大会に出場した。また、島原市で開催された全国中学校総合文化祭に演劇部が出場し、多くの観客に感動を与え、賞賛された。吹奏楽部においては、県北地区大会で金賞となり、県北地区代表として8月の県大会への出場を決めるとともに、地域行事において積極的に演奏を披露し、貢献している。



保護者はもとより、教育に対する地域の関心は高く、早岐地区自治協議会青少年健全育成部をはじめとする諸団体からの支援、行政施策面からの支援など、地域が一丸となって将来を担う生徒たちの成長を支えていただいている。このような環境の中で、本市の「特色ある学校づくり対策事業」を有効に活用することにより、家庭・地域との連携をさらに深めながら、本校の教育目標の具現化に努めた。



2 テーマと取組

「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」の具現化のために、早岐＝「は」「い」「き」という3つの文字を頭文字にした学校像にちなんだ取組を推進した。

また、保護者・地域へ積極的に広報活動を行うことで、学校・家庭・地域が手を取り合い、連携して学校教育を推進し、未来を担う早岐の生徒を育てている。生徒の心の教育や学力向上についても、本事業を推進する中で、様々な取組を行っている。

| テーマ「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」 | | |
|----------------------|---------------|---|
| は | はきはきと挨拶ができる学校 | 生活信条「凡事徹底」によるあいさつに対する意識の高揚 職場体験学習によるキャリア教育 |
| い | 居心地のよい学校 | i-Checkの活用による生徒理解の深化・生徒指導の改善等 |
| き | 規律のある学校 | いのちや健康、性教育、薬物乱用防止教室等に関する講演会 保護者や地域への広報活動 |

3 実践内容と成果

(1) 学校経営スローガン及び生活信条の浸透

校舎2階に学校経営スローガン

「一步前に」～今こそ、心機一転、リスタート～ 生活信条「凡事徹底」～成功の鍵は、よき習慣にあり～の横断幕を掲げ、常に意識させた。



(2) お先にあいさつ運動の推進

早岐地区小中学校の共通課題であるあいさつについて改善を図るために、教職員と生徒会役員（毎日）、PTA 学年生活部（学年ごとに1週間ずつ）が「お先にあいさつ運動」を連携して推進している。そして、早岐中学校一徳運動の「お先にあいさつ」の幟を掲げ、生徒会役員が校門付近であいさつ運動を行った。また、あいさつ運動用のウインドブレーカーを生徒会役員や教職員が着用することで冬場のあいさつ運動に対する意欲向上を図った。



(3) 地域人材の活用

地域の方を講師としてお招きし、2年生において「ゆかた着付け教室」を実施した。生徒たちは、講師の方々に教わりながら自分たちで着付けを行うことで、日本の伝統文化の良さを改めて感じる事ができた。また、2年生において「カンツォーネを歌おう」をテーマに、中島忠幸氏をお招きし、学年音楽を実施した。生徒たちは、表情豊かな演奏を鑑賞することによって、歌うことの楽しさや素晴らしさを味わう事ができた。



(4) 職場体験学習・保育園幼稚園訪問学習による体験学習の推進

2年生において総合的な学習の時間に「職場体験学習」を実施した。3日間にわたり地域の事業所で学校では体験できない経験をすることができた。実際に仕事を体験するとともに社会



のルールやマナーを学ぶ貴重な活動となった。ほとんどの生徒が意欲的に取り組み、将来の進路選択の一助となった。また、この活動をとおして周囲への感謝の気持ちをもつことの大切さを学んだ。



3年生において「保育園幼稚園訪問学習」を実施した。乳幼児とのふれあいを通じて、乳幼児の体や心、言葉の発達の特徴をより深く理解するとともに、普段の学校生活では見られない姿を発見することができた。

(5) i-Check の実施による指導法の検証

今年度も昨年同様に11月末に全学年において2回目のi-Checkを行い、1学期以降の学年・学級で意識して取り組んできたことの検証を行った。また、2回目の結果を分析し、学年・学級の新たな課題を発見し、その後の学級指導や生徒指導に役立てることができた。

(6) プリント作成 Web サイトを活用した基礎学力の向上及び学習環境の整備

基礎学力の向上を図るために、有料のWebサイト「みんなの学習クラブ」を活用してプリントを作成・配付し、授業や放課後の個別指導に役立てることができた。

(7) 家族のふれあいアップ

学校オリジナルカレンダーを各家庭に配付することで、家庭での会話や挨拶などふれあう時間を増やすきっかけにした。

(8) 外部講師による心とからだの教育 思春期教室（保健関係の講演会）

生徒の心とからだの成長を促すために、各学年を対象として外部講師を招聘し、次のとおり思春期教室を実施した。



〈1年〉

- 6月21日（水）5・6校時 公開道徳『いのちを見つめる講演会』
長崎バイオパーク園長 伊藤 雅男 様
- 11月1日（水）5・6校時 性教育『いのちについて考えよう』
長崎県看護協会 助産師職能委員 江頭 沙織 様
- 11月8日（水）5・6校時 歯科指導『いつまでも自分の歯で食べるために』
学校歯科医 渡邊 吉郎 様

〈2年〉

- 10月26日（木）5校時 薬物乱用防止教室
長崎税関（佐世保税関支署） 川淵 直樹 様
- 11月29日（水）5・6校時 性教育『当たり前って何だろう？』
Take it!虹 代表 儀間 由里香 様

〈3年〉

- 9月29日（金）5・6校時 性教育『デートDV防止教室』
国際ソロプチミスト佐世保パール 金子 紀子 様

4 おわりに

今年度は、5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったことにより、様々な学校行事がコロナ禍前の状況で実施できた。特に、外部講師を招聘していのち・性に関する講演会、薬物乱用防止教室等を対面形式で行うことができたことは、講師の方の表情や熱意を肌で感じることができ、より深い学びに結びつけることができた。また、特色ある学校づくりに必要な取組を精選し、充実した活動を実践することができた。今後も本校の特色ある取組をとおして、「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」という教育目標の具現化を推進するために、「誰一人取り残すことなく、全ての生徒の可能性を引き出す教育」を実践していく。

